

教えてください、あなたのことを。⑭

東京都東村山市 上村 麻弓 さん（美住リサイクルショップ運営委員会）

Q 差し支えなければ、年齢、出身地を教えてください。

A 横浜出身で、子ども3人、孫2人の49歳です。

Q ごみ問題に関心を持つようになったのは…？

A 子ども達が小さい頃、生協の環境委員会に参加していました。ごみ問題にも取り組んでいましたが、その頃の関心は、どちらかという食品添加物や原発でした。子ども達の食べ物のことが心配でした、ちょうどチェルノブイリの原発事故があったからです。



ごみ問題に深く関わったのは、1990年頃、日の出町の最終処分場問題で「水からの速達」の上映会をやった頃からです。そのうち、すぐ近くの柳泉園焼却炉（東久留米市）建て替え計画が出てきて、さらに深く関わることになりました。

東村山に引っ越してからは、美住リサイクルショップ運営委員会の委員として、10年ほどになります。柳泉園焼却炉建て替え時に、最初は東村山市もそこに加わる計画になっていたのが、「燃やさない、埋め立てない、どこの町にも迷惑をかけない」という方針で単独処理を決めました。その時の市民協議会から生まれたのがこの委員会で、名前は「リサイクルショップ」ですが、行政の組織の中にあり、ごみ減量・リサイクル・環境に関する啓発活動を行っています。

Q 「ごみ・環境ビジョン21」に入会してくださったきっかけを教えてください。

A 生協の委員会で一緒だった方達がごみかん設立に関わっていたこともあり、最初から会員でした。その後、地元の活動で手いっぱい、しばらく遠ざかっていましたが、最近再び会員にさせていただきました。



Q 特筆すべき近況があれば、教えてください。

A 3.11以降、放射能の問題にも取り組んでいます。こんな事故が起こっても多くの人々が声をあげないことに少なからずショックを受けました。いくらごみ焼却の問題を訴えても多くの人を動かすことができなかつたのも当然だったのだと納得しました。

でも、大手のスーパーがレジ袋を有料化したり、資源を分別する事も定着しています。少しずつでも世の中は変わっているのだと思います。

いろんな活動をしていると、「〇〇するべき」と考えてしまいがちですが、少しの人がエキスパートになるより、全体がほんの少しでも良い方向にシフトする事が大事だと思っています。レジ袋だって、2回に1回断るだけで、半分になるんですから。「1人の100歩より、100人の1歩」ですよ。

ホームページもぜひご覧ください。ツイッターは…@murakaka
美住リサイクルショップ運営委員会 <http://hmyumehouse.web.fc2.com/index.html>
ガイガー東村山 <http://geigerhm.web.fc2.com/index.htm>